

2022年度 第3回10月名大本番レベル模試 地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

**2 論述問題**

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 下線の付け忘れは1問につき1点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語1つにつき1点減点。  
(解答中のどこかで使用していればよい。  
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは1点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

- 1. <□□□□> 加点ポイント
- 2. □□□□× 事実誤認あり
- 3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別加点基準**

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○/△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば 1 点加点する。

問題 I

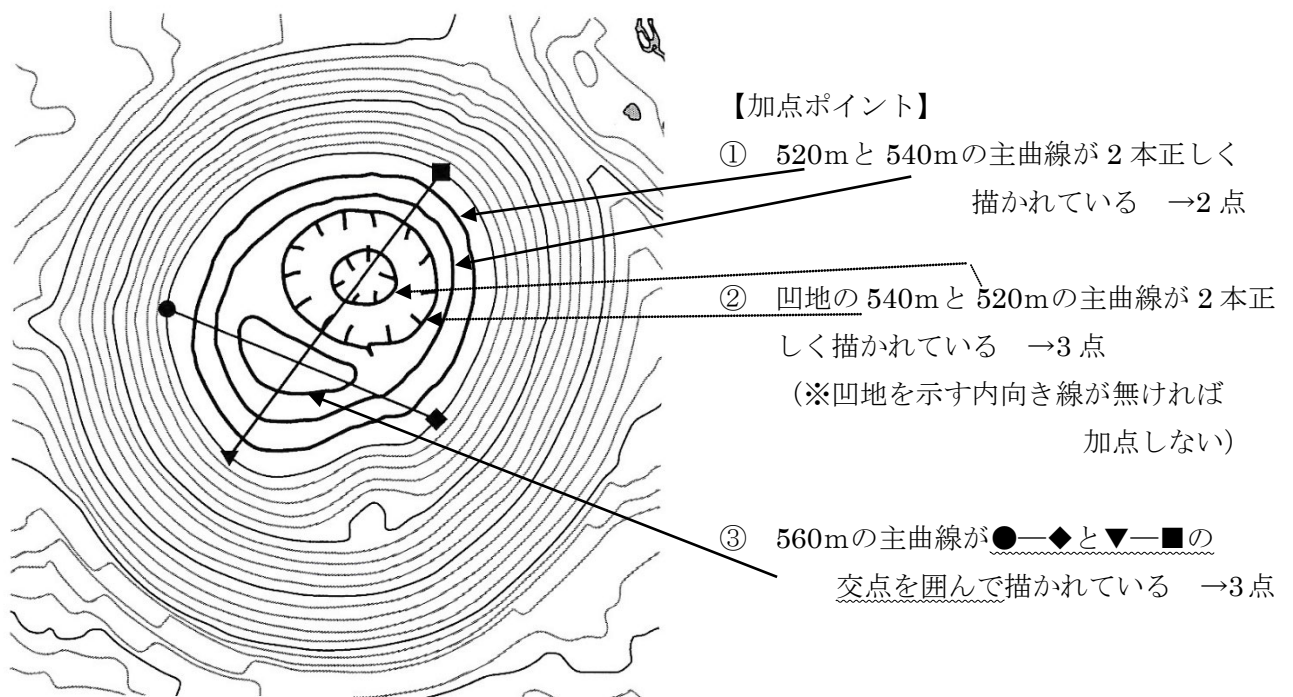
問 2[特徴] 8 点

夏は亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）の北上により乾燥し、冬は亜寒帯低圧帯（高緯度低圧帯）の南下で発生する温帯低気圧により湿潤となる。

【加点ポイント】

- ① (降水量の特徴) 夏季 (夏/高日季) は乾燥する (降水量が少ない) →2 点
- ② (降水量の特徴) 冬季 (冬/低日季) は湿潤になる (降水量が多い) →2 点
- ③ (①の成因) 夏季は 亜熱帯高圧帯 (中緯度高圧帯) の影響を受ける →2 点
- ④ (②の成因) 冬季は 亜寒帯低圧帯 (高緯度低圧帯) の影響を受ける/温帯低気圧の影響を受ける /寒帯前線の影響を受ける/冬季は海からの偏西風の影響を受ける →2 点

問 4 8 点



問 5[内的営力] 10 点

火星ではプレート運動がないため、ホットスポット上の火山にマグマが供給され続けるが、ハワイではプレートの移動によって火山島が移動して列島になるため、標高が高くない。

【加点ポイント】

- ① (火星では) 火山にマグマが供給され続ける／火山がホットスポット上から動かない →4 点
- ② (ハワイでは) プレートが移動する／水平方向のプレート運動が見られる →3 点
- ③ (②により) 火山島が移動する／火山がホットスポット上からずれていく  
／同一の火山へのマグマの供給が続かない →3 点

問 5[外的営力] 10 点

重力が小さい上に低温のため流水による山体の侵食がない火星に対して、ハワイでは重力が大きく降水量が多いので侵食・運搬が起こりやすく標高が高くない。

【加点ポイント】

- ① (火星では) 山の侵食がない／山の侵食が少ない →2 点
- ② (①の理由)・重力が小さい →1 点  
・低温で流水がない／降水がない →2 点
- ③ (ハワイでは) 侵食で標高が低くなる →2 点
- ④ (②の理由)・重力が大きい →1 点  
・降水量が多い／雨による侵食を受ける →2 点

問題Ⅱ

問2(2) 14点

酸素が薄く、白人が入植しにくいアンデス高地に先住民の文明が栄えていたPでは、先住民とメスチーソの割合が高くなった。低地に肥沃なパンパ土が分布し、温暖なため白人が入植しやすいQでは、白人の割合が高くなった。高温多湿で白人には過酷な労働環境であるRには、アフリカから奴隷が連行され、白人のほかに黒人とムラートも多くなった。

【加点ポイント】

★①②の加点は問2(1)の「P：ペルー」の正解を前提とする

- ① (Pの特徴)・先住民の割合が高い／先住民が多い →2点
    - ・メスチーソの割合が高い／メスチーソが多い／先住民と白人の混血が多い →1点
  - ② (②の背景)・高地である／酸素が薄い
    - ・白人が入植しにくい
    - ・先住民の文明が栄えていた／インカ文明が栄えていた
- } 1つ1点  
2点まで

★③④の加点は問2(1)の「Q：アルゼンチン」の正解を前提とする

- ③ (Qの特徴) 白人の割合が高い／白人が多い →2点
  - ④ (③の背景)・温暖である／ヨーロッパの気候と似ている
    - ・低地である／肥沃な土壤に恵まれ農業に適する
    - ・白人が入植しやすい
- } 1つ1点  
2点まで

★⑤⑥の加点は問2(1)の「R：ブラジル」の正解を前提とする

- ⑤ (Rの特徴)・ムラートの割合が高い／ムラートが多い →2点
    - ・黒人が多い／黒人の子孫が残る →1点
  - ⑥ (⑤の背景)・高温多湿である／気温が高い／熱帯地域が多い
    - ・白人には過酷な労働環境／サトウキビ(コーヒー豆)の農園が開発された
    - ・アフリカから奴隷が連行された／黒人が労働力として連行された
- } 1つ1点  
2点まで

問3(2) 14点

アボリジニとマオリは、西欧からもたらされた感染症と白人による迫害により、一時期人口が激減した。しかし、保護政策や諸権利の回復による生活の改善により、人口の回復が進んだ。また、両民族は一時期、英語教育など白人社会への同化を強要されたが、現在は彼らの言語や伝統文化を保存する取り組みが見られる。

【加点ポイント】(※問3(1)の正否を問わない)

- ① (2つの先住民は) 一時期人口が激減した／白人の入植後に人口が急減した →3点
- ② (①の理由)・西欧(白人)からの感染症／天然痘・インフルエンザ・麻疹などの病気 →2点
  - ・白人からの迫害／白人に土地を奪われた →2点
- ③ (近年の傾向) 人口の回復が進んだ
  - ／アボリジニは白人入植当時の人口になりマオリは以前より大幅に増えた →3点
- ④ (③の背景)・先住民保護政策／先住民の権利の回復 →2点
  - ・先住民の言語や文化を尊重する取り組み／多文化主義／マオリ語の公用語化 →2点

問題Ⅲ

問5 10点

オのベルギーでは、北部に居住するゲルマン系のフラマン人と南部に居住するラテン系のワロン人との間で対立が見られ、その解決のために連邦制が採用された（複数の公用語が採用された）。

【加点ポイント】

- ①（オの国名）ベルギー →2点
- ②（オの民族名）・フラマン人／フランドル人／フランデレン人 →1点  
・ワロン人 →1点
- ③（フラマン人は）・北部に居住 →1点  
・ゲルマン系／オランダ系／オランダ語を話す →1点
- ④（ワロン人は）・南部に居住 →1点  
・ラテン系／フランス系／フランス語を話す →1点
- ⑤（解決策）連邦制の採用／複数の公用語／首都を民族分布の境界に置いた →2点

問6 12点

統一価格を国際価格よりも高く設定し農民の生産意欲を高め域内の食料増産を目指したものの、過剰生産や価格維持のために多くの財政負担が発生するなどの問題が生じた。

【加点ポイント】

- ①（統一価格設定の目的）・農民の生産意欲向上 →2点  
・食料（食糧）増産／食料自給率の向上 →2点
- ②（導入後の問題点）・過剰生産
  - ・補助金の増大／EUの財政圧迫
  - ・EU内非農業国の不満増加／加盟国間で分担金の不均衡が生じた
  - ・非EU国から保護貿易だと批判された／貿易摩擦が生じた

1つ4点  
8点まで

問7 10点

都市Zのトゥールーズに本拠地を置くエアバス社は、EU圏内を中心に分業生産された部品を集めて組み立てる方式で航空機製造を行っている。

【加点ポイント】

- ①（都市名）トゥールーズ／トゥルーズ →2点
- ②（企業名）エアバス社／エアバス →2点
- ③（工業種）航空機（飛行機）製造 →2点
- ④（工業の特徴）・EU圏内を中心に部品を分業生産する  
／国際分業によりEU内で部品を製造する →2点  
（※「EU内での分業」が明記されてない場合は1点加点）  
・①で部品を集めて完成品をつくる／①で組み立てる →2点